

2023年6月8日
凸版印刷株式会社

凸版印刷、「バーチャル YOSAKOI ソーランプロジェクト」を支援 札幌で開催される「第 32 回 YOSAKOI ソーラン祭り」にあわせ よさこい踊りをメタバース上で公開

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、2023年6月7日(水)~11日(日)に、札幌市の大通公園を中心に開催される「第32回 YOSAKOI ソーラン祭り」に合わせ、昨年「YOSAKOI ソーラン大賞」を受賞した、よさこいチーム「北昂(きたすばる)」のメンバーがメタバース上でよさこいを踊るコンテンツ映像を製作しました。

なお本コンテンツは、一般社団法人 YOSAKOI ソーラン祭り組織委員会(会長:星野 尚夫)、札幌未来デザイン会議、ソニーマーケティング株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:糸川 滋)、株式会社 VRooM(本社:北海道札幌市 代表取締役:昇 宇慶)と共同で、「バーチャル YOSAKOI ソーランプロジェクト」の第一弾として製作されました。



小型センサーを装着したチームの群舞の収録風景とメタバース上で再現されるパフォーマンス

(右の画像は左の実写画像とは異なる時点で動作をキャプチャーしたものです)

© 一般社団法人 YOSAKOI ソーラン祭り組織委員会

■ 概要と背景

「YOSAKOI ソーラン祭り」は 30 年以上の歴史あるお祭りで、国内外から 200 以上のチーム参加し、200 万人以上の観客が集まる、北海道でもっとも大きなイベントの一つです。そのような中で、より多くの人に「YOSAKOI ソーラン祭り」を楽しんでもらうべく、メタバース上で演舞の公開を実現しました。

凸版印刷は、地元企業で構成される「札幌未来デザイン会議」の一員として、札幌エリアの更なる活性化と「YOSAKOI ソーラン祭り」の更なる拡大に資するべく、今回の「バーチャル YOSAKOI ソーラン祭り」へ協力しました。

具体的には、昨年「YOSAKOI ソーラン大賞」を獲得した札幌市よさこいチーム「北昂(きたすばる)」のメンバーが装着した小型センサー機材から、よさこい踊りの動作データを取得。そのデータを元に凸版印刷が構築したメタバース上に、アバターを構築し演舞を忠実に再現しました。

■ 「バーチャル YOSAKOI ソーランプロジェクト」映像公開ページ URL

<https://www.yosakoi-soran.jp/news/meta202306.html>

■ 今後の展開

凸版印刷は「バーチャル YOSAKOI ソーランプロジェクト」の第二弾として、一般社団法人YOSAKOI ソーラン祭り組織委員会、札幌未来デザイン会議と連携し、来年の「YOSAKOI ソーラン祭り」に向けて、メタバース上での各チームのパフォーマンスの再現や、全世界からリアルタイムパフォーマンスを遠隔で披露できる企画の実現を推進していきます。

■ 「第 32 回 YOSAKOI ソーラン祭り」について

名称：「第 32 回 YOSAKOI ソーラン祭り」

会期：2023 年 6 月 7 日（水）～11 日（日）

会場：札幌市内の約 13 の会場

主催：一般社団法人YOSAKOI ソーラン祭り組織委員会

公式サイト URL：<https://www.yosakoi-soran.jp/>

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上